

4×100mリレーのテイク・オーバー・ゾーンの変更について

テイク・オーバー・ゾーン（バトンパスが行える区間の長さ）がこれまでの20mから30mに変更となります。国際ルールでは既に2017年11月1日より適用されていますが、日本では2018年度から適用されます。第34回山形県小学生陸上競技大会（2018年大会）でも適用されるので、第24回西村山陸上競技選手権大会でも適用し競技を行います。

具体的には、改正前のルールにあるテイク・オーバー・ゾーンの前10m以内のところから走り始めてもよい加速ゾーン（通称「ブルーゾーン」）がある場合に、そこでもバトンパスを行ってよいこととなります。西村山選手権においては、ここで示す加速ゾーンの入口（これまでのブルーゾーンの入口）とテイク・オーバー・ゾーンの出口（これまでの20mのテイク・オーバー・ゾーンの出口）の2カ所にラインを設けます。

